

地域医療 連携室だより

年頭のご挨拶

副院長（地域医療連携室長） 石井 勉



新年あけましておめでとうございます。この冬は雪が多く厳冬の様です。新型コロナウイルスの流行は昨秋から落ち着いて推移した時期があり、当院では面会制限は継続しておりますが入院患者さんの院内での活動は制限を緩和し、プチ外出やイベントを多く行うことができいております。また支援学校の生徒さんも、授業は病棟で行うような制限をしてきましたが、年末より学習棟へ通学し通常授業を行うようになりました。

一方で最近になりオミクロン株が出現したことで徐々に感染拡大がみられていることから、今後感染症への知見を最新へと更新し緩和した感染対策については時期を逸することなく万全のレベルへと対策引き上げを柔軟に行っていく予定です。

また、検査受託につきましては地域における当院の責任を確保すべく受け入れを絶やすことがないよう通常の対応をしており、感染が継続しても職員一丸となり地域医療への貢献に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。



雪が降った
翌日の1コマ



病棟のお正月飾りの様子



令和3年度 「県中医療圏退院調整ルール」運用評価会議 〈病院等・ケアマネ合同会議〉に参加して

～『福島病院のコロナ禍における工夫と取組について』事例発表を通して～

「県中医療圏退院調整ルール」運用評価者会議は、県中医療圏の病院等（病院と有床診療所）・ケアマネが互いの立場を理解し合い、地域全体の『退院調整ルール』をみんなで作り活用することを目的として県中保健福祉事務所、郡山市保健所が事務局となりH27年より開催していましたが、昨年度はコロナ禍のため行うことができませんでした。今年度はオンラインでR3年12月16日に開催することができました。

『コロナ禍における工夫と取組について』病院等から4事例、ケアマネジャーから4事例の発表がありました。私もオンライン面会を利用した患者状態の共有やカンファレンスの実施、退院前自宅訪問時にカンファレンスの機会を持つ工夫など、福島病院の事例を発表させていただきました。福島病院は入退院支援の主となる神経難病は高齢者の発症率が高く、介護者の家族も高齢者の方が多い現状があり積極的にICT（情報通信技術）を取り入れ、退院支援を進めるのは難しいと考えていました。ですが他病院、ケアマネさんの発表を聞き、もっとICTを利用した介入ができると支援の幅を感じました。高齢の方にも伝わりやすい情報伝達方法を検討しながらケアマネジャーと情報を繋ぎ、退院後のサービス介入をよりスムーズにすることで患者・家族が安全に安心して生活できるよう病院全体として入退院支援に取り組んでいきたいと思っております。

●地域医療連携室 副看護師長 穴沢和子

病棟のご紹介

第5病棟の紹介

5病棟は重症心身障害児（者）病棟で、9歳から70歳まで59名の患者さんが入院されています。治療、看護はもとより、日常生活を豊かにすごしていただけるよう、医師、看護師、看護助手、児童指導員、保育士がそれぞれの専門性を発揮し手を携えながら支援させていただいてます。5病棟の大きな特徴としては、呼吸管理を強みにしているというところです。人工呼吸器装着、気管切開、永久気管孔の患者さんが多く、人工呼吸器の管理や適切なポジショニング、排痰法、リラクゼーションを実施することで、呼吸器感染症を防ぐ努力をしています。また、患者さんおひとりおひとりに寄り添い、個別性を尊重しながら、温もりのあるアットホームな生活環境を整えています。

●第5病棟 看護師長 村上美佳



呼吸器管理に
特化した
専門性のある
看護を
行っています



訪問歯科診療も行っています



保育士と一緒に
制作も楽しんで
います



院内行事のご紹介

オンラインツアー リハビリテーション



コロナ禍ということで制約はありますが、福島病院では『発声を増やし、患者様同士が交流できるリハビリ』を目的としたオンラインツアーリハビリを継続して実施しています。11月は『福島県の紅葉』をテーマに、県内の様々な場所の紅葉を観光することができました。

お話しの練習である『構音訓練』を行っているA様は、今回初めてオンラインツアーリハビリに参加され、他職員や他患者様とコミュニケーションをとる練習を行いました。はじめは、緊張でなかなかお話しが弾みませんでした。クイズへの参加や、どの場所の紅葉を見たいか意見交換することで、徐々にお話しの頻度が増え、笑顔が見られるようになりました。構音訓練で練習している、口を大きく開けることや、話す早さの調整なども練習通りに行っていたことをお伝えすると、「話せて楽しかったよ、また参加したいね」と笑顔で応えてくださいました。

今後も、構音訓練の一環や発声頻度の増加を目的にオンラインツアーリハビリを企画していきたいと考えています。

●リハビリテーション科 言語聴覚士 遠藤 遥

次回は
冬ならではのツアーを
予定しています



地域医療連携室から登録医のご紹介

医療法人にほ小児科医院

- 院長：仁保幸次（にほ こうじ）先生
- 診療科目：内科、小児科、アレルギー科
- 診療時間：

外来受付時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	●	休診日
15:00～18:30	●	●		●	●	15:00～17:00		

- 休診日：日曜、祝日、水曜午後

診療時間・内容等について、事前に必ず医療機関に直接ご確認ください。

- 住所：〒969-0401 福島県岩瀬郡鏡石町鏡沼241
- ☎：0248-92-3335

にほ小児科は、須賀川にもほど近い鏡石町の4号線隣にあります。福島交通バス鏡沼バス停が近く、バリアフリーの院内は清潔なおもちゃが揃っており、待ち時間を過ごす小さなお子さんとご家族にとって、とてもやさしい空間になっています。

仁保先生は小児科専門医であり、福島病院にも20年余りの長期にわたり、小児慢性疾患や重症心身障害児医療に携わられました。平成16年に開業なされてからは、地域住民のかかりつけ医として心強い存在となっています。また、医療的ケア児の診療を行う当院を今も気に留めてくださり、支えていただいています。



- 鏡沼バス停より徒歩1分の所にあります。
- 20台ほど停められる広々とした駐車場。



外来担当医表

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【令和4年1月1日より】

区 分	月	火	水	木	金
内 科 1	安 田 千 尋	安 田 千 尋			安 田 千 尋
内 科 2	佐 藤 由 紀 夫 (第1・3)				
内 視 鏡 検 査				安 田 千 尋	
脳 神 経 内 科	伊 藤 英 一	根 本 和 夫	伊 藤 英 一	根 本 和 夫	杉 浦 嘉 泰
小 児 科	福 島 医 大	石 井 家 二 勉 氏 家 二 郎	石 井 勉		河 原 田 勉
専 門 外 来 (発達小児クリニック)		石 井 家 二 勉 氏 家 二 郎			河 原 田 勉
専 門 外 来 (小児神経外来)			石 井 希 代 子		
専 門 外 来 (小児循環器外来)			桃 井 伸 緒 (第2・4)		
小 児 専 門 外 来	予 防 接 種 (午後)				
整 形 外 科	古 川 浩 三 郎		古 川 浩 三 郎		古 川 浩 三 郎
小 児 外 科				清 水 裕 史	
脳 神 経 外 科		福 島 医 大 (第2)			

- 完全予約制となります。予めご予約をお願いいたします。
- 受付時間は午前8:30～11:00までです。急患については随時受付いたします。外来担当医は、都合により変更となる場合がありますので、ご了承下さい。
- 外来担当医表は令和4年1月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認下さい。

独立行政法人国立病院機構

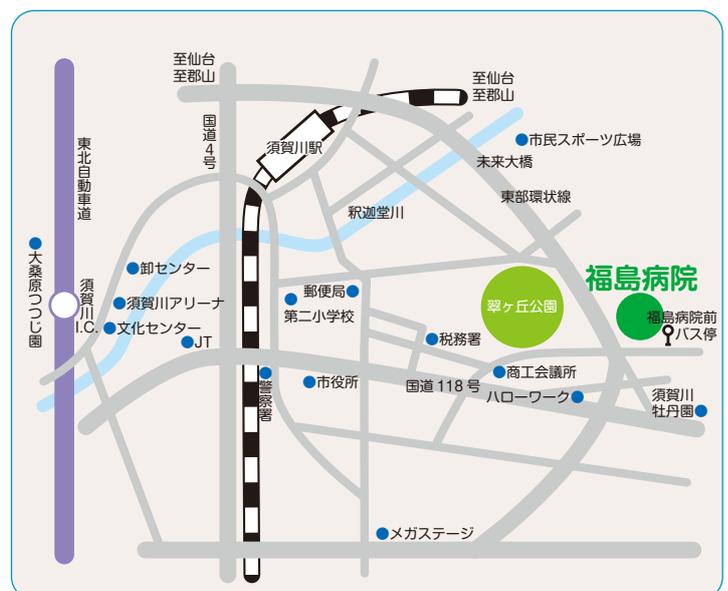
福島病院地域医療連携室

- 新規契約、ご相談、ご予約、お問い合わせについては

地域医療連携室直通

TEL 0248-75-2279 FAX 0248-75-2569

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地 TEL 0248-75-2131 (代表)



<https://fukushima.hosp.go.jp/>